

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		保育所等訪問支援 こどもトレーニングひろば		公表日		令和7年 3月 19日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点	
環境 制 運 備 営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	○		必要な評価バッテリーを準備	今後も必要な教具教材は準備していく	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		まだ利用児も少ないため職員数は足りている	利用児の増加とともに増員は検討していく	
業 務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		目標を設定する際は全職員で検討している	振り返りの回数が少ないと感じる もっと振り返りを大切にしていこうシステム作りを検討していく	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者からの評価を真摯に受け止め職員会議にて改善、対策案を検討している	保護者がなんでも言いやすい環境を提供していくことが必要と感じる	
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		職員会議などの全体会議だけでなく、朝礼などの少人数の場でも業務改善に向けた話し合いができています	チェックリストを作成するなど、何が改善できて何が改善できていないかをしっかり把握できるようにしていきたい	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		外部からの評価はまだ実施していない 今後、検討していく	
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		研修補助費支給など研修を推奨している 就業時間内での研修参加も実績あり	事業所単位での研修も増やしていきたい	
適 切 な 支 援 の 提 供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	○		半年に1回保護者面談を実施 必要であれば関係機関へアセスメントを実施	個人情報の取り扱いには注意が必要	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		保護者面談を実施する前に全職員で子供一人一人の評価を実施 内容も保護者へフィードバックしている		
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○		訪問先施設のスタッフと連携をとり移行を聴取している		
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		職員はいつでも計画書を開覧できる 閲覧したらチェックするようしており全職員が閲覧したのかを把握することができる	現在は利用児数が少なく把握はしやすいが多くなってきた時のことも検討しておく必要がある	
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		評価方法を定めており、保護者へも適切にフィードバックできている		
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	○		支援内容はなるべく具体的に示すよう心がけている		
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		11と同様		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		多職種で連携し支援内容を事前に検討している		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援終了後には支援内容の振り返りを行い共有している		
17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	○		訪問支援先の理念を大切にし支援方法を検討している	意見が合わない時には支援先の方向性を大事します		
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	○		毎回記録はしっかりと取り今後の支援に役立てるように工夫している			

	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定められた頻度でのモニタリングと必要に応じてケース会議を実施している	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		管理者、児発管が出席するようにしているが必要であれば担当者も参加している	事業所側からも積極的に担当者会議を促していく必要がある
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		関係機関とは必要な時にすぐ連携が取れる体制は確保できている	普段から連絡が少ないようにも感じる
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		まだ就学に向けた支援をする機会はなかったが今後も情報共有は徹底していく	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		研修補助費支給など研修を推奨している 就業時間内での研修参加も実績あり	
	24	(自立支援)協議会子こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		自立支援協議会や子供部会へは積極的に参加している	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		ご利用した日には必ずその日の状況を細かく伝えるようにしている	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		YouTubeにてペアレントトレーニング動画を配信している	事業所内での研修会等を今後は検討する
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に説明している	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○		初めての訪問先に対しては事業の趣旨をしっかりと説明している	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		半年に一度は面談を実施し保護者と子供の意思をヒアリングしている 面談以外にも都度面談実施	普段から子供の意思を聞けるように話しやすい環境の提供が必要
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○		面談で話した内容をもとに計画書を作成している 保護者にも直接計画書を見ながら説明	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○		面談は事業所での様子をお伝えするだけでなく日頃の家庭の様子も聞くようにしている 適宜保護者面談も提案	保護者の方もお仕事をしているので時間の確保が課題と感じている
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。		○		保護者だけの交流会はできていない 今後は取り入れていけるよう検討 兄弟支援に関しては一緒に参加できるイベントを立案していく
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		相談が合った場合には迅速に対応している 相談支援員とも共有し対応している	相談しやすい環境を提供していく必要がある
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		○		まだ事業所通信を発行したことはありません 今後検討していきたい
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報の取り扱いについては全職員に対し周知徹底している	
訪問先施設への	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		話をしやすい環境を提供	
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○		訪問先から質問や相談が合った場合には事業で検討し回答するようにしている	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○		必要であれば適宜カンファレンスを実施している	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○		毎回支援後には保護者へ共有している	

説明等	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		35と同様	
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○		訪問先との意見を合わせながら助言するようにしている	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		"各種マニュアルを作成しHP上にも掲載し周知している 訓練も必要回数実施"	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画策定済み 研修、訓練ともに実施している	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハット委員会を法人で設置し共有できる体制を確保している	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止委員会をを適宜開催している 対応が必要な場合には迅速に対応できるようにしている	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		身体拘束が必要な子供には事前に保護者に説明をしている 計画書にも記載している	